



札幌会場篇

一度に27棟のモデルハウスが見られる住宅展示場。
 インフォメーションセンターでは、住宅設備機器関連のカタログや会場内の
 モデルハウスプラン集も常時備えています。
 休日にはお散歩気分でモデルハウス見学に出かけませんか。

第15回目は 札幌会場をウォッチング。

今回は「北海道の暮らしを楽しむ」コンセプトが盛り込まれた2棟のモデルハウスをウォッチングしてきました。

ecoaハウス (J-TOPシリーズ)

エントランスの延長線上に、チラッと見えるオシャレな空間を発見！シュークローゼットとは別に設計された空間の名称は「ホビールーム」。名前の通り、大人も子供も“興味のある楽しみをこの場から発信する”という思いを込めたスペースです。本来、玄関と言えば、モノを置く収納空間を広く取り、きれいにスッキリまとめたいと考えるものですが、あえて靴を履いたまま気軽に「非日常感」を楽しめるフリースペースとしました。フレキシブルな時間を体験できる斬新なアイデアが目を引きまします。

家の中心に設置されたルーフテラスと吹き抜けは、外からの視線を気にするこ

となく、ゆったりとくつろげる安心感と開放感があります。リビングとテラスの境目を忘れてしまいそうな大開口の窓が、四季の彩りを暮らしに取り込み、内と外との区別がつかなくなるくらいに自然と一体化しています。今までにない、心躍る空間デザインが楽しめるモデルハウスです。

2階ホールからスタディスペースから主寝室、ユーティリティへの動線途中にウォークインクローゼット(WIC)を設置。通路からは開口部が見えない造りになっており、利便性と快適性を両立させています。ぜひ参考にさせていただきたいおすすめコーナーです。



活用の幅が広がる玄関横のホビールーム



自然と一体化した内と外の繋がりが斬新な空間デザイン



緩やかに仕切られた主寝室と書斎・パウダーコーナー



水回りスペース内に便利な家事コーナーを設置。



寛ぎの場やゆとりある収納を設けたワイドな主寝室。



カフェ風インテリアのLDK。左奥には水回りが集中。

北海道セキスイハイム (パルフェ)

60年メンテナンスフリーの総タイル張りがシンボリックなモデルハウス。

外観の印象とはガラッと変わり、LDKは、カフェ風のインテリアで統一されています。子育て世代に優しいお手入れしやすい素材や、人気のアッシュカラーをフローリングなどに採用。階段ホールにはポルダリングコーナーや書斎コーナーがあり、機能性プラス楽しさのある提案も見どころです。

キッチンから洗濯室・バスルーム・洗面室へ。水回りスペースへのスムーズな回遊動線、リビングとの間仕切りの役割を担う格子状飾り棚など、暮らしやすさの工夫や心地よさを随所に盛り込んだ

空間設計です。

2階の寝室には扉つきのWICを2つ配置。夫婦それぞれ持ち物を管理したり、パウダールームや趣味のモノをまとめて収納する場としたり。我が家流に自在に使いこなせるスペースです。

“長く一緒に暮らす”ライフステージの中で、家族と共に過ごす時間やプライベートを楽しむ時間を踏まえながら、どんな暮らしが家族にとってベストなのかを考えてみましょう。さらには新しい働き方・家事習慣など時代の変化を受け止めながら、いつまでも快適で住みやすいマイホームであり続けるために、「間取りの可変性」など、先を見据えた視点を持つことも大切です。



住宅収納スペシャリスト
 整理収納アドバイザー
 宅地建物取引士

米村 大子
 Hiroko Yonemura

家事効率の良い住まいは“片づけやすさ”に比例します。のべ900件以上の片づけの現場を解決してきた整理収納アドバイザーの目線と住宅収納の専門家＝住宅収納スペシャリストの目線で「おうち時間が快適になる収納の見どころ・イチオシポイント」をお伝えしていきます。